

シリーズ  
知って納得！  
地域自治区

第8回

# 13区の地域協議会での新たな試み

市では現在、合併前上越市の区域への地域自治区の導入を目指しています。このシリーズでは、地域自治区制度について、より多くの市民の皆さんから知っていただくため、毎回テーマを絞って紹介していきます。（このシリーズは、毎月15日号で連載しています）

■問合せ…自治・地域振興課（内線1449、1547）



▲月影地区で開催した出張地域協議会の様子

13区の地域協議会では、より充実した審議を行うため、通常の会議のほかにも地域住民の皆さんや様々な団体と連携を図るための自主的な取り組みを行っています。今回は、浦川原区地域協議会の活動事例を中心に紹介します。

各地区での「出張地域協議会」と地域住民の皆さんとの懇談会の実施

浦川原区では、通常、地域協議会の会議をコミュニティプラザで開催していますが、より多くの住民の皆さんの声を審議に反映させ、地域協議会の活動について理解を深めていただくため、地域に向いての会議も行っています。

この取組みは、区内のコミュニティ活動の単位となっている4つの地区で実施することとしており、今年2月末までに3つの地区で実施しています。

各会場では、住民の皆さんが傍聴する中で審議を行い、会議終了後に、住民の皆さんとの懇談会を開催しています。住民の皆さんからは、地域課題に関する具体的な要望や意見が数多く出され、地域協議会と住民の皆さんとの間で情報共有を図る有意義な試みとなっております。

近隣の区との連携  
～大浦安地域協議会  
委員交流会～

昨年8月には、合併前から地域のつながりが深く様々な場面で連携を図ってきた大島区、浦川原区、安塚区の地域協議会が合同で、委員同士の交流会を開催しました。

交流会では、地域自治区制度についての勉強会や、各区の協議会の活動報告、中山間地域の集落での高齢化等3区に共通する課題について意見交換が行われました。

その結果、今後、3区の共通課題について連携を図って



▲「自治フォーラムうらがわら」の様子

いくために、任意の連絡協議会の設置を検討することになりました。

住民組織、町内会  
との連携

浦川原区では、今年の2月21日、地域協議会と住民組織、町内会長連絡協議会、総合事務所が協力して「自治フォーラムうらがわら」を開催しました。

フォーラムでは、各団体が活動状況や課題、役割への思い、他の団体との連携などについて発表しました。参加者を交えた意見交換では、それぞれの団体の特長をいかしながら、一層の連携を図り、地域が一丸となってまちづくりに取り組みることの必要性が確認されました。

13区の地域協議会では、よりよいまちづくりを実現していくため、それぞれ創意工夫しながら新たな試みに取り組んでいます。



このような区内のまちづくりの担い手である住民組織や町内会等との連携・協力は、他の区でも行われています。板倉区では、平成19年7月に、住民組織の板倉まちづくり振興会主催の「板倉まちづくりフォーラム」に地域協議会委員も参加し、地域協議会光ヶ原高原活用検討部会での審議経過などについて報告を行いました。

また、大潟区では、昨年9月に、住民組織のまちづくり大潟の呼びかけに応じて、町内会長協議会と地域協議会、総合事務所の4者で、まちづくりの大きな課題となっている「地域リーダーの育成」について意見交換が行われるなど、各区で様々な取り組みが進められています